

白神の絆



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

冬期間のニホンジカ生息状況調査

日本各地の生態系に甚大な影響を及ぼしているニホンジカが、白神山地周辺地域に進出しはじめていることは、ご存じの方も多いと思います。今回はそのニホンジカに関する、当センターの冬期間における活動の一部を皆さんにご紹介します。

ニホンジカ対策を実施する上で、越冬場所の把握は、とても重要な要素となります。当センターでは、ニホンジカの越冬場所などの情報収集を目的として、冬期間も18箇所自動撮影カメラを設置しています。

カメラにたどり着くと、まず電池の残量を確認。それとSDカードの回収と入れ替えです（このとき、SDカードに何も写ってないと、少しがっかりしている自分に気が付きますが、未だ生息密度が低いということですから喜ばしいことなのです！）。また、今年の降雪量が例年より多かった為、場所によってはカメラが雪に埋まっていることがあるので、そのときはカメラを雪の中から掘り出し、高い位置へ再度取り付けを行うこともあります。



雪の斜面を黙々と歩く

この後、SDカード内の写真を確認・分析して一連の作業は終了します。



盗難防止用の鍵が凍り付き、苦戦中



冬眠中？の虫たちが出てくることも

また、自動撮影カメラによる調査以外に、ニホンジカ生息の可能性が高い場所をセンター職員が踏査して、痕跡調査もしています。

右の写真は、自動撮影カメラの新しい設置箇所を確認を行ったときのものです。動物が体を木にこすりつけたような痕跡を発見、また木の表面には、泥と角を研いだような痕、そして獣の毛が残っていました。そこでピンセットで慎重に獣毛を採取、密封した上で、森林総合研究所東北支所に送付し、DNA鑑定を依頼しました。鑑定の結果、採取した獣の毛はニホンジカのもものと判明しました。



以上のように、当センターでは、森林生態系を後世に引き継いでいく一環として、冬期間も継続して白神山地周辺地域において、ニホンジカの生息状況を調査しています。

収集した情報は、関係機関と共有し、今後のニホンジカ対策に活用していきたいと考えています。みなさんもこの地域でニホンジカの姿を見た際などには、当センターまで情報をいただきますよう、ご協力よろしくお願ひします。(赤澤)

コラム：白神山地の滝

白神山地には多くの滝がありますが、その中で代表的なものとして「暗門の滝」や「くろくまの滝」などがあります。滝は冬になると寒さで水が凍り、冬の時期ならではの姿に変えます。実はこのような滝を冬でも手軽に見ることができるスポットがあるのです。それは西目屋村の乳穂ヶ滝です。その年によって違うのですが2月には写真のような光景を見ることができ、期間限定でライトアップもされているようです。

また、滝ではないのですが、深浦町の千畳敷海岸にある地層には冬になると大きなつららが発生します。この地層からは一年中水がしみだして、それが凍ってつららができあがるらしいです。

是非この機会に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。(木村)



乳穂ヶ滝

(H26年度撮影)



千畳敷海岸のつらら

(R4年度撮影)